

追悼文集の掲載にあたり

第11期知球会会長 石川裕彦

諏訪浩さんが2022年1月14日にお亡くなりになりました。氏は、2003年の知球会立ち上げのときから幹事として知球会運営に貢献され、第3期以降はお亡くなりになるまで総務として知球会の事務一切を取り仕切ってこられました。それが如何に大変な仕事であったかは、氏の亡きあとの知球会運営を司る立場となり、切に実感するところです。

いまは亡き諏訪さんを偲び、会の発足から20年の永きにわたり副会長として諏訪さんと共に知球会運営に携わってこられた岩崎好規さん、5・6期会長の荒木徹さん、7・8期会長の入倉孝次郎さん、9・10期会長の今脇資郎さんより追悼のお言葉をいただきました。諏訪さんへのお礼を込め、ここに掲載致します。

諏訪浩さんの急逝を悼んで

第1～10期副会長 岩崎 好規

諏訪浩さんは、地球物理の同窓会の設立当初から幹事として参加されていましたが、彼の本領が発揮されだしたのは、総務幹事の設置が議論され、平成19年総務幹事となって頂いたところからです。諏訪浩さんは、総務幹事として、水を得た魚のように、会の企画、運営から懇親会の司会まで積極的に活動して下さり、副会長の私は殆ど動く必要がなくなっていました。

彼から要請があり、初期のころの総会写真とか、毎年印刷していた会員名簿などの情報を送りました。それらを総括しつつ、知球会の成立過程から、現状に至るまでの知球会小史のまとめ、現在の知球会のwebに掲載されています。

諏訪さんは、これからの地球会の夢をいろいろと語っていましたが、突然の訃報の知らせに誠に残念という思いです。

諏訪浩さんの急逝を悼んで

知球会 育ててさらに 伸ばそうと 夢を語りし 友逝きしとは

岩崎好規

## 諏訪さんを偲んで

第5・6期知球会会長 荒木 徹

田中寅夫第4期知球会会長の説得に根負けして第5期（2011-13年）会長を引き受けてしまった時から、諏訪さんとの付き合いが始まった。当時、私は、地球物理学教室同窓会（「知球会」という名前はまだ無かった）について殆ど何も知らなかったので、田中さんと諏訪さんに昼食から夕方まで話を聞き、会の成り立ち、運営の中身、会長が果たすべき役割をおぼろげながら理解した。

個人的な交際も始まり、「Boseの音響機器に興味がある」と言ったら、「宅にあるから、お気に入りのCDを持って、来ませんか」と言われたので、モーツアルトの40番シンフォニーを持参して、聴かせてもらった。この時、諏訪さんが私と同じ中学の後輩で、「ちびレイ」と呼んでいた小林レイ先生の音楽の授業を共に受けていたことが判った。レイ先生のソナタ形式の解説を覚えていて、中学生にしては高度な楽理を習ったものだと言った。諏訪さんも出演する京大合唱団公演を西宮で聴いたこともあり、年1回の公演に集中するアマチュア合唱団の熱意に感じ入った。

日本の科学カフェの草分けである「科学カフェ京都」でオーロラとSpace Physicsの話をした時、他の話者を紹介して欲しいと言われたので、諏訪さんを推薦した。彼は、「京都東山の山津波」について述べ、「危険で監視下にある斜面の崩壊は、日を指定して予測できる」と言われたので、そんなに精度高く判るのかと感心した。この講演の後、諏訪さんは、科学カフェ京都の運営に参画するようになり、その中心として理事長からも頼りにされるようになった。「科学カフェ京都150回記念誌」が出たときには、その編集を担当された。また、長尾真先生の講演があった日の夕方には、諏訪さんは10数人の懇親会を企画され、音楽好きで京都市音楽芸術文化振興財団理事長でもあった先生を囲んで話を楽しんだ。

私は、責任ある仕事は、その意義を理解出来ても、色んな事が気になって緊張するので、なるべく避けたいと思っていて、どうしても自分が引き受けなければならないと納得できるまで固辞するのだが、諏訪さんは、面倒な仕事も負担とは思わず楽しみながら出来るおおらかな天性をお持ちであった。知球会の総務も科学カフェの運営も、義務としてではなく自ら能動的・積極的に生き生きと動いて、楽しそうにこなしておられた。知球会懇親会では、写真係を務め、動き回って座を盛り上げておられた。私の会長業務の文章も面倒がらずに目を通し、「こう直したらどうですか」と率直に提案され、一方では、賛成できない事には、はっきりと異議を表明された。

このような諏訪さんの姿勢は家庭生活でも同じで、ご夫人と二人の娘さんから敬愛されて明るく楽しいご家庭を創っておられるように思えた。

諏訪さんが、体調を崩して休んでおられると聞いた時、いずれ回復されると気に止めなかったのに、亡くなられたと聞いたときには驚愕した。何事も手を抜かずに真摯に取り組んで、自ら愉しみ、人をも楽しませた諏訪さんには、まだまだ多くのしたいことお有りであったらと思う。知球会も科学カフェ京都も貴重な人を失って残念だが、今は、もうご冥福を祈るしかない。

諏訪 浩さんを偲んで

第7・8期知球会会長 入倉孝次郎

私は2015年4月から4年間知球会の会長を務めさせていただきました。それまで知球会には、一同窓生として、知球会主催の公開講演会や同窓会総会に参加していましたが、幹事などの経験はありませんでした。会長となったきっかけは、亡くなられた田中寅夫先生からのEmailと電話にはじまりました。当時の会長は荒木徹先生（第5、6期）で、田中先生は荒木先生の前の会長で私が防災研究所在任中の先輩なので、断るわけにはいきませんでした。また、その田中先生の話では、知球会は諏訪浩さんという名総務が居て、幹事会を支えているから何も心配ないと言われ、会長を引き受けてしまいました。

諏訪さんは、防災研究所の地形土壌部門に大学院生(1970-1975年)そして助手として頑張っていた当時(1980-90年頃)、私はその隣の建物(両方ともバラックでした)の地震動部門で助手として働いていました。その頃、諏訪さんは焼岳の土石流のリアルタイムの観測に取り組んでいて、1975年に発生した土石流の動画の撮影を成功させたときは部門全体が大さわぎでしたが、隣の部門の我々も一緒に喜んだことを思い出します。

それから数えると約40年になりますが、私が知球会の会長として総務の諏訪さん一緒に仕事をする事になりました。総務として知球会の準備など運営に関して全体を見通してくれていたのも、何も知らずに会長になった私もなんとか講演会や総会をなんとかやることができました。特に、総務として最も重要な仕事である知球会の会員名簿の整備は、諏訪さん無くしてはできなかつたと思います。毎年の講演会・総会の会員への案内が滞りなくできているのは、諏訪さんのお陰です。卒業生の動向についてもよく調べていて、講演会で毎年卒業生から興味深い話を聞くことができたのも諏訪さんの努力によるものです。

諏訪さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

諏訪浩さんは2021年5月から肺炎で入退院を繰り返されていました。早く元気になって知球会の活動に復帰して頂きたいと心待ちにしていたのですが、翌年1月に突然の訃報が届きました。まさか帰らぬ人になられようとは夢にも思っていませんでした。

諏訪さんは海洋物理学講座（第二講座）の2年後輩です。ただし彼は防災研究所の故奥田節夫教授の研究室（地形土じょう部門）に所属していて、地球物理学教室にいた私は、ほとんど会う機会がありませんでした。お付き合いするようになったのは、私が知球会の会長を引き受けることになった2016年からです。彼は2003年の知球会創設時から総務という要職を務められていて会の習慣を熟知されている一方、こちらは京都にいなかったこともあって知球会とは疎遠で活動の様子が分からず、色々助けて頂きました。

諏訪さんは知球会に献身的な貢献をされてこられました。会の最も大事な活動は毎年2月に開催する講演会・総会ですが、その準備をほとんど一手に引き受けてこられました。2021年に体調を崩されたため、翌年2月の講演会・総会の準備は代りに会長の私が中心になって進めることになりました。幸い彼はそれまで数多くのメールをまめにCCで私達執行部にも送って下さっていたので、ちゃんとした引継ぎは出来ませんでした。彼の活動の大部分は把握できていて、なんとか代役を務めることが出来ました。この経験で、彼が大変な仕事をされていたのを改めて認識しました。また会員名簿の維持・管理はとても手の掛かる作業ですが、それをていねいにこなされていました。さらに懇親会では琵琶湖周航歌の歌詞を印刷して全員に配り、会の最後に大合唱して雰囲気盛り上げるなど、なにごとにも熱心に取り組まれました。これらを毎年確実に続けられていたのだと思うと本当に頭が下がります。

他界された直後にお嬢さんから頂いたメールに「いつも同窓会の仕事が忙しい忙しい、と言っていました。家族の間では“好きでやってるよね、生き甲斐だね”と話しながら見ていました。大好きだったのだと思います。」とありました。知球会の仕事を一手に引き受けて頂いていた会長としては、少し救われた気がしました。

思い出話を一つ。知球会では11月に役員会、翌年2月に講演会・総会があります。横浜に住んでいる私は、新型コロナウイルスの騒動が始まる前は、次期会長や会長として年に2回は京都に泊まり掛けで出向いていました。その頃は海外からの観光客が大勢宿泊していて、ホテルがなかなか取れない状況でした。次期会長になって早々、諏訪さんからメールで「ホテルが取れなかったら遠慮なくいつでもうちに泊まって下さい。部屋は空いてますので」と熱く勧められました（欧米の知合いが宿泊を誘って呉れるのを見ならっているとか）。それまで彼とはそれほど深い付き合いではなかったので、ビックリしたと同時にその積極性に感心しました。

諏訪さん、長い間知球会のために活動して頂きありがとうございました。どうか安らかにお休み下さい。